

組合の存在意義と使命を明らかにする

## 経営理念と行動指針を策定しました

本組合では、令和6年9月に「経営理念」と「行動指針」を新たに制定しました。

これらは、本組合が「何のために存在し」「今後、どのように行動するのか」を明らかにし、組合員・役職員が一丸となって進むための道しるべとなるものです。

### 経営理念

## 「森林のもてる力を最大限に引き出し、職員の力を結集して、持続可能な地域をつくる」

私たちは、森林の持つ多様な価値、機能を最大限に生かし、職員一人一人の力を結集して、自然と調和し、将来の世代に引き継がれる、豊かな地域をつくることを目指します。

※持続可能な地域とは  
地域の自然環境や文化、コミュニティーを守りながら、将来の世代にわたって豊かな生活環境が維持できる地域

### 行動指針

経営理念を実現するため、次の5つの行動指針を掲げ、日常業務の中で実践していきます。

#### 1. 安全で効率的な事業の展開

安全を最優先し、最新技術と先人の知恵を柔軟に活かし、収益性と職員の幸福度を高める経営をめざします。

#### 2. 次世代を担う職員の育成

人材を最も大切な資源ととらえ、技術とリーダーシップを備えた人材の育成に積極的に取り組みます。

#### 3. コミュニケーションの強化と開かれた経営

職員間の情報共有と対話を大切にし、時代の変化に柔軟に対応できる組織をつくります。

#### 4. 組合員サービスと社会貢献の推進

質の高いサービスを通じて組合員の森林への関心を高め、森林の公益的機能を通じて地域社会に貢献します。

#### 5. 持続可能な森林経営の推進

森林の環境保全と経済活動の両立を図り、次代につなげる持続的な森林活用を進めます。

これらの理念と指針を、日常の行動の中で実践することこそが、組合の歩みを支える根幹です。

これからも、地域に根差し、森とともに、また組合員の皆さんとともに歩む森林組合であり続けます。